

基礎の立ち上がり高さの設定【矩計図】

文書管理番号：1273-01

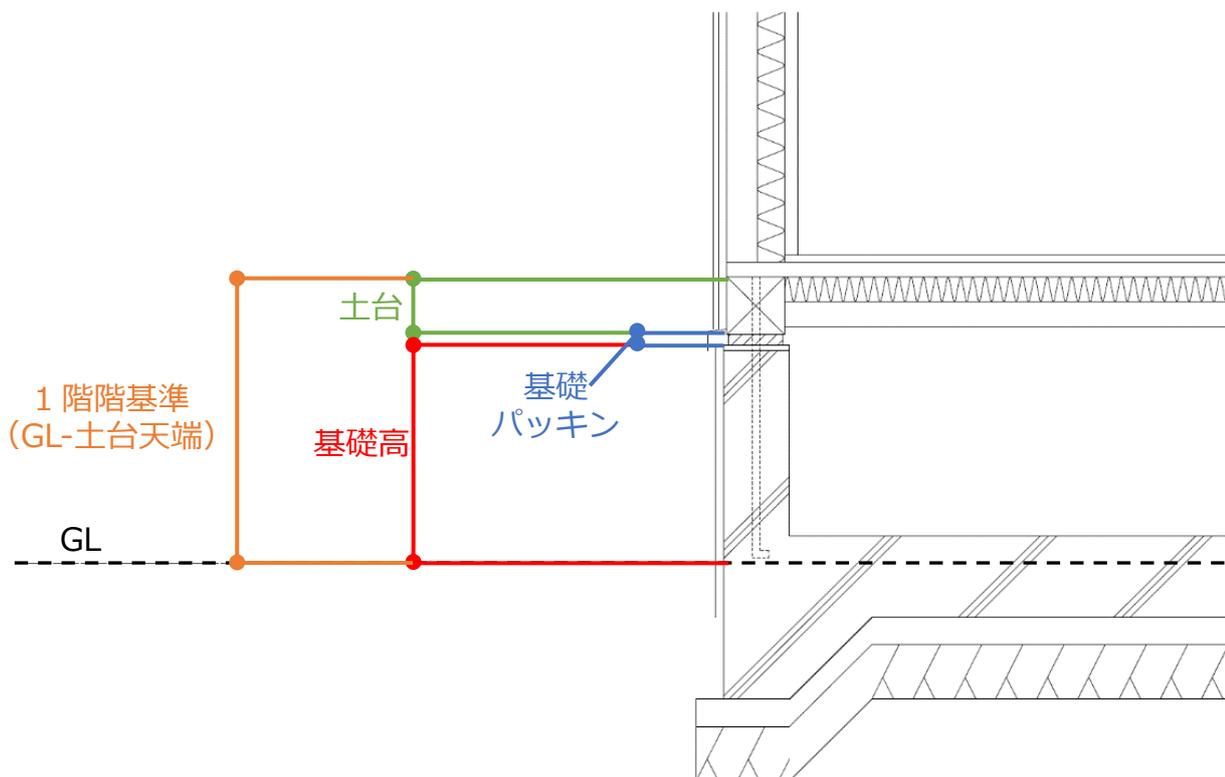
Q. 質問

矩計図で基礎の立ち上がり高さを指定したい。

A. 回答

基礎の立ち上がりの高さは、矩計図の設定画面では指定できません。

 (高さ設定) または、 (物件概要) 4/4 ページ目「建物高さ」で設定する 1 階階基準 (GL から土台天端までの距離) から土台の高さと基礎パッキンの厚みを減算した値が基礎の高さとして設定されます。



$$\boxed{\text{基礎の高さ}} = \boxed{\text{1 階階基準 (GL-土台天端)}} - \boxed{\text{土台の高さ}} - \boxed{\text{基礎パッキン}}$$

● 1 階階基準（GL-土台天端）の確認と変更

☰ (クイックメニュー)またはメインメニューから🏠 (高さ設定)をクリックします。

📏 (階基準高さ)をクリックして階基準高さの画面を表示します。

* 📄 (物件概要)の4/4 ページ目「建物高さ」を表示してもかまいません。

階基準高さ

建物高さ設定 単位：mm

2階軒高さ 6460

2階階基準高さ 2925

2階階基準 (1階軒高さ) 3535

1階階基準高さ 3010

1階階基準

土台天端 525

基礎高さ 400

GL

2階床高 40

2階天井高 2400

2階FL 3575

1階床高 40

1階天井高 2400

1階FL 565

床高・天井高

木造根太ス仕様

階数名称	基準床高 (±L床高さ)	基準天井高 (±L天井高さ)	FL (床仕上天端)
2階	40	2400	3575
1階	40	2400	565

軒高

木造一般仕様

階数名称 (横架材天端距離)	階基準高さ (横架材天端)	階基準 (横架材天端)	軒高さ	基礎高さ	最高高さ
2階	2925	3535	6460	7704.9	
1階	3010	525	3535	400	-

※基礎パッキンの高さは階基準に含めてください。

OK キャンセル ヘルプ(H)

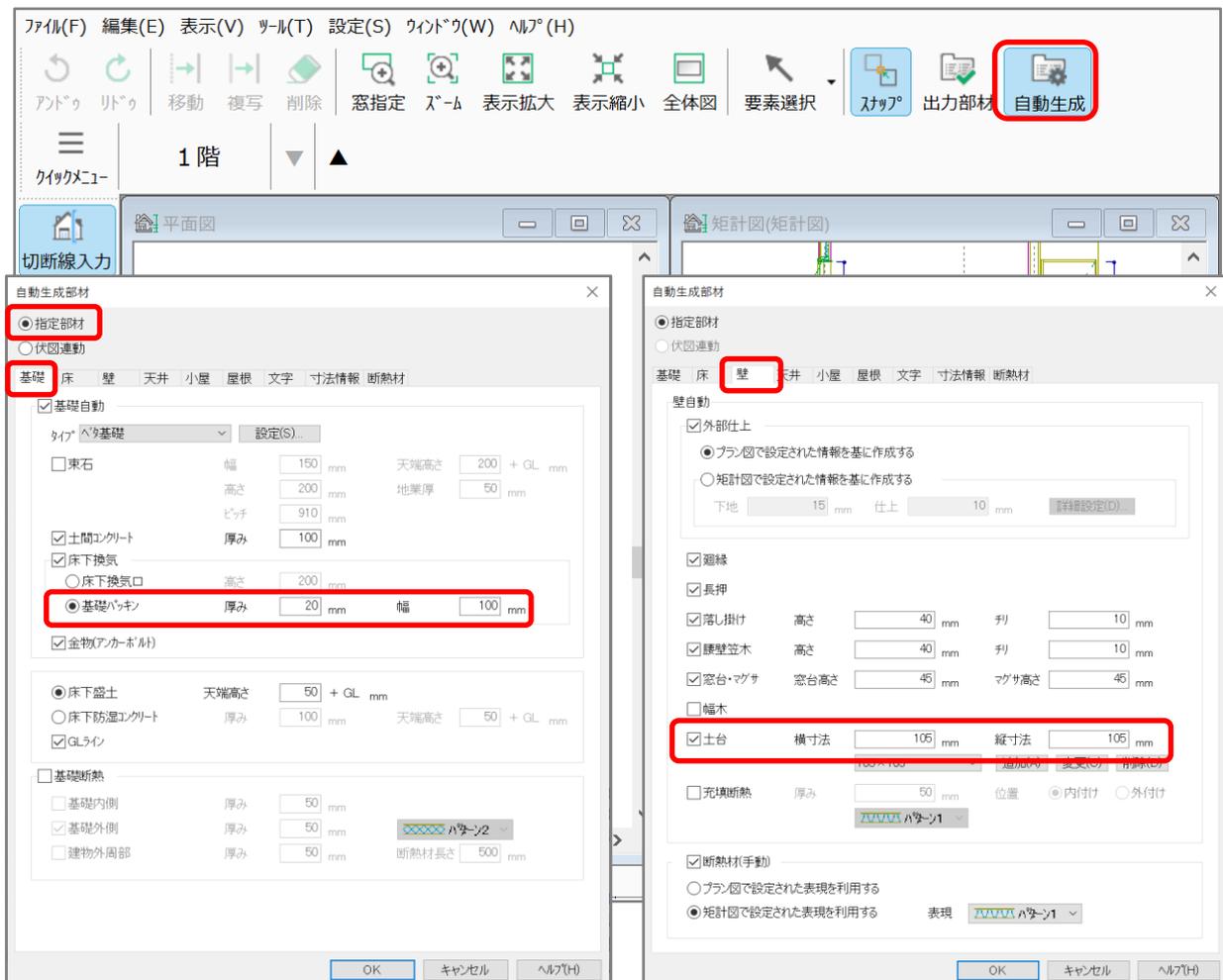
1 階の「階基準（横架材天端）」に GL から土台天端までの高さを入力してください。

* 基礎高さは立面図や断面図、矩計図の寸法線と3Dパースなどの3D表現で表示される基礎の高さに反映します。

● 矩計図での土台の高さ、基礎パッキンの厚みの確認と変更

☰ (クイックメニュー) またはメインメニューから (矩計図) をクリックします。

(自動生成) をクリックして自動生成部材の画面を表示します。



矩計図は、自動生成部材の設定に基づいて作成する「指定部材」と、伏図データの入力内容に基づいて作成する「伏図連動」があります。

「指定部材」の場合、

「基礎」タブ・・・基礎パッキンの厚み

「壁」タブ・・・土台の縦寸法（高さ）

を確認・変更します。

「OK」を押すと、設定した内容で矩計図の作成処理が行われます。

「伏図連動」の場合は、各種伏図の入力内容が反映するため、基礎の高さは基礎伏図での高さで表示されます。また、矩計図と同様に基礎伏図の画面で直接基礎の高さを指定できません。

詳しくはこちらをご覧ください。

[\[1191\] 基礎の立ち上がり高さの設定【基礎伏図】](#)